

## 2 広域スペクトル抗菌薬使用時の細菌培養実施率

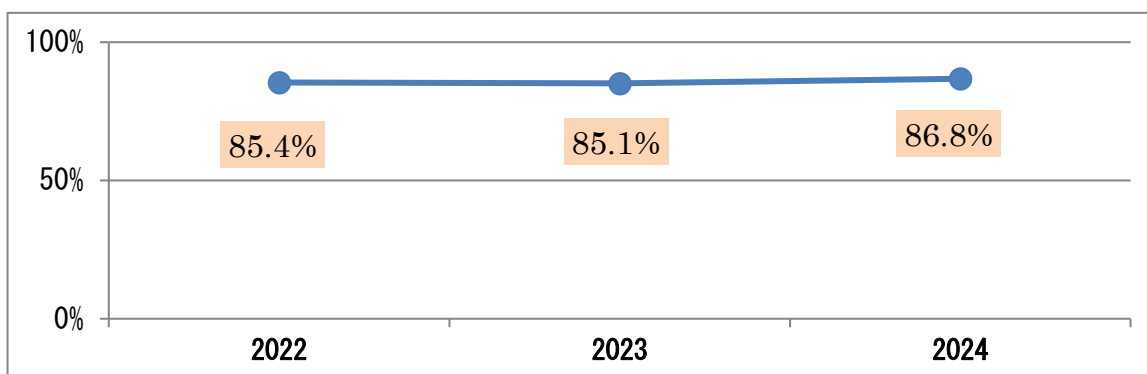
### 指標の説明・定義

近年、多剤耐性アシネトバクター属菌や、幅広い菌種に効果を有するカルバペネム系抗菌薬に耐性のある腸内細菌科細菌など、新たな抗菌薬耐性菌が出現し、難治症例が増加していることが世界的な問題となっています。不適切な抗菌薬の使用は、耐性菌の発生や蔓延の原因となることから、各医療機関において抗菌薬適正使用支援チームを組織するなど、抗菌薬適正使用を推進する取り組みが求められます。抗菌薬適正使用の鍵を握るのは正確な微生物学的診断であり、抗菌薬投与前の適切な検体採取と培養検査が必要です。

※「日本医療機能評価機構 HP」より引用

分子 分母のうち、入院日以降抗菌薬処方日までの間に細菌培養同定検査が実施された患者数  
 分母 広域スペクトルの抗菌薬が処方された退院患者数

### 結果



	2022 年度	2023 年度	2024 年度
分子	654 人	675 人	689 人
分母	766 人	793 人	794 人